

令和5年度 北海道三笠高等学校 学校評価アンケート(教職員)

4段階による評価

4=はい 3=どちらかと言えば、はい 2=どちらかと言えば、いいえ 1=いいえ

回収 14/15

評価項目	No.	評価基準	令和5年度	令和4年度
			平均値	平均値
教育目標 教育計画	1	学校教育目標 ①豊かな教養と専門的な知識・技術を習得し、創造性に富んだ人間の育成 ②自ら深く考え正しく判断する力と、他者を敬い感謝する心を持った感性豊かな人間の育成 ③健全な身体と粘り強い実践力を培い、心身ともに逞しい人間の育成 この教育目標は生徒の実態や保護者の願いを踏まえたものになっている。	3.5	3.9
	2	教育目標を達成するために、校長の学校経営のもとに、全職員の共通理解が図られている。	2.9	3.4
	3	校内各組織で提案された重点目標や重点課題に基づいて、日常の教育活動を見直し、目標達成のための工夫・改善が図られている。	3.0	3.4
	4	学校の全職員が生徒一人ひとりの理解に努め、人間的触れ合いを深めることにより、特色ある学校づくりがすすめられている。	2.6	2.8
学習指導	5	教育課程の編成は、生徒・保護者・地域のニーズに応えたものとなっている。	3.3	3.8
	6	教育課程を円滑に実施するための工夫・改善が、毎日の教育活動の中で図られている。	3.0	3.4
	7	各教科・科目の学習活動が円滑に進められるように、教科・学年及び関係分掌が互いに協力し合うなど、指導体制が確立されている。	2.9	2.9
	8	指導の過程や成果を評価することによって、学習指導の改善を図り、生徒の学習意欲を向上させ、学習内容を確実に身に付けさせている。	2.9	3.3
生徒指導 進路指導	9	学校の実態に即して生徒指導体制や進路指導体制が組織され、教育目標を達成するための工夫・改善が行われている。	2.8	2.9
	10	生徒理解のための資料が整備され、その活用が図られるとともに、教育目標を達成するための工夫・改善が行われている。	2.8	3.4
	11	教師と生徒が信頼関係が結ばれ、教育目標の達成に向けてお互いに生き生きと活動している。	2.3	2.6
	12	本校のいじめ防止に関する取組は十分である。	2.4	3.1
学年経営	13	生徒の実態や発達段階を的確に把握し、教育目標の達成に向けて学年目標が設定されている。	2.9	3.5
	14	学年の運営に当たっては、生徒一人ひとりを大切にしながら、適切な組織づくりや役割分担による協力的な指導体制が確立されている。	2.7	3.3
	15	生徒一人ひとりの良さや可能性が発揮できるような場を設定するなど、教育目標を達成するための工夫・改善がなされている。	2.9	3.1
その他	16	本校の教育を可視化するために適切な情報を地域や保護者に発信している。	3.0	2.9
	17	生徒の進路実現のため、各企業や地域との連携が図られている。	3.3	3.6
			2.9	3.3